



風立ちぬ

『志高く 未来を切り拓く』立川中学校通信
第2号 令和3年5月24日(月)発行



「風来風流通り」に花が咲く！



5月18日(火) 暖かな日差しに包まれ、1年生の参加による「花いっぱい・さわやかあいさつ運動」が行われました。元気な挨拶が交わされ、爽やかな気持ちで活動することが出来ました。

1時間もすると「風来風流通り」(からふるどおり)が明るく演出され、心が踊り出す雰囲気でした。

車で通った町の方々も自然と笑顔になり、生徒のみんなを応援してくださいました。おつかれさま。ありがとう。



第1回 学校運営協議会

5月20日(木)、地域・保護者・学校の代表から成る「学校運営協議会」が開催されました。学校の応援団として、まず立川小学校・立川中学校の児童・生徒の様子や教育活動の内容を理解して頂きました。活動内容の地域への発信方法や、児童・生徒の地域行事への参加を「all 立川」で取り組めると良いなど積極的な意見交換が行われました。昨年度の保護者・生徒による学校評価において、『地域への愛着・誇り』の項目は高評価でした。この意識をベースに動き出すことが出来そうです。そして、「まずは地域に住む子ども達を知ること」そのために、「積極的に挨拶を交わす」ところから始めよう、という結論に達しました。「おはようございます」「こんにちは」「ただいま」「おかえり」地域の方々や家族のように挨拶が出来ると良いですね。



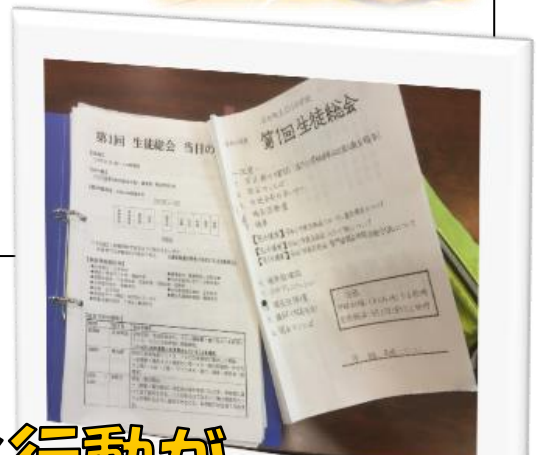
「生徒会の活動」に思いを寄せて

生徒会活動は、立川中学校の顔であり、学校生活作りの根幹です。学校教育目標の「志高く」「自立」と「貢献」に取り組んでいる姿でもあります。

昇降口での挨拶運動は、他者を受け入れ、自分を認めてもらうコミュニケーションの第一歩の役割を。募金活動では、身を削り他者を思いやる気持ちの涵養。

放送を通じての情報共有では、同じ方向を向いて共に進もうという意思表示を行うことができます。生徒のみなさんのおかげで、学校が生き生きしています。ありがとうございます。

全校生徒が一層輝ける学校作りを共に進めていきましょう。



“立中生は自主的な行動が出来ていると思いますか？”

生徒会執行部が総会で生徒に問いかけた「立中ディスカッション」のテーマです。

「考えを述べる人はマイクの前に出てください」という議長の言葉に、2年生、3年生のほとんどの生徒が殺到！それを見ていた1年生と私の目は丸くなっていました。「すごいなあ、先輩達！」自主的に自分の考えを述べようと前に出てきたのです。先輩達の回答は、「積極的に活動している人もいれば、先生の指示がないと動けない人もいます。だから、どちらとも言えません」というものでした。「立中生は、恥ずかしがり屋が多いのだ」という意見も出ました。

「では解決策を話し合いましょう」という呼びかけにグループでの対話が始まります。1年生もササッとグループになり、各自しっかりと考えを述べ始めました。「時間になりました、解決策を紹介してください」今度は先輩達に混ざって、1年生もマイクの前に。すぐに対応できる立中生の良さが発揮された瞬間でした。「0.1の挑戦を積み上げよう！」を改めて確認させて頂きました。

